

実践研究発表



令和6年10月22日(火)に大分市のレンブラントホテル大分にて、

令和6年度大分県老人福祉施設協議会「大分県高齢者福祉施設等実践研究大会」が開催されました。

感謝状贈呈やフォトコンテスト表彰、行政説明「大分県における介護人材確保に向けた取組について」などがあり、講演では、鷹鳥屋神社宮司 矢野大和氏が「笑って元気～必要とされる喜び～」との内容で、人間は人間から元気をもらえる、コミュニケーション力が必要、存在感は得意技である。など面白おかしく話してくれました。

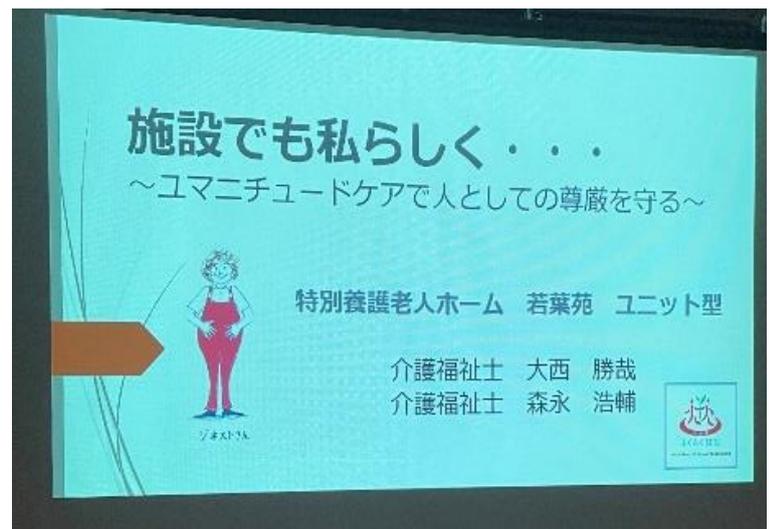
午後からは4会場に分かれて施設等の実践発表会があり、若葉苑からは2題目で、発表を行ってきました。

■ 「口腔ケアの基本サービス化への対応と誤嚥性肺炎ゼロへの挑戦

～週2回の口腔ケアで口腔内を清潔にして、介護の力で命を守ろう～ 介護主任兼介護支援専門員坂本秀仁職員

■ 「施設でも私らしく ～ユマニチュードケアで人としての尊厳を守る～」

介護福祉士森永浩輔職員、介護福祉士大西勝哉職員



今後もこのような研修会に参加すると同時に、様々な取り組みを活かして、入居者・利用者・ご家族の皆様から満足していただけるような施設・事業所になるように職員一丸となって

介護・看護等のサービス提供をしていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



みんなの「生きる」を
社会福祉法人